

## 全農協労連女性部・春闘アピール

### 全国のなかまに呼びかけます！

2015年春闘が山場を迎え、単組支部分会では要求実現に向け取り組まれています。

「春闘」とは、賃金引上げや労働条件の改善を求める労働運動です。いまこの時にも全国のさまざまな産業の労働組合・労働者が要求実現のためにたたかいを進めています。

2014年はアベノミクス効果による景気回復が賃金にも波及するといわれてきましたが、果たしてアベノミクスの恩恵で私たちの暮らしにゆとりができたでしょうか。日銀が2015年1月に発表した国民の生活意識に関するアンケート調査によると、「暮らしにゆとりがなくなってきた」と答えた割合は51%となり、アベノミクス前の水準に戻っています。アベノミクスは、一部の富裕層に富が集中し、大半の国民の生活は貧困化が進行する「格差社会」をつくりだしました。

一方、政府のめざす「農業・農協改革」は、農協系統や農業関連団体に働くなかまに「このまま働き続けることができるのだろうか」と雇用や将来への不安を増大させています。地域に根差した事業を展開する農協は、農家組合員の営農と暮らしはもちろん、地域の経済やインフラに寄与しており、「農業・農協改革」で農協が潰されれば地域の雇用破壊に伴う経済状況の悪化、インフラの撤退など地域社会への影響は図り知れません。すなわち、「農業・農協改革」は、農協つぶしであると同時に、地域の破壊にもつながっています。安心安全な食料を安定的に供給するという国民の命に関わることすら、企業の儲けの道具になりかねません。

私たち全農協労連女性部は、なかまとの学習や交流を通じ、“農家組合員や地域の人のために仕事をし、誇りを持って働ける職場をつくろう”、“健康に働き続けられる職場をつくろう”という思いをわかちあい、確認してきました。しかし、「農業・農協改革」は、働き続けられる職場を奪うかもしれない問題であり、自分自身の将来に大きく関わる重大課題です。私たちの職場、日本農業は、誰かが守ってくれるものではなく、私たち一人ひとりが労働組合の一員として奮闘する以外にありません。春闘はまさにその「時」です。あなたのその一歩が、自らの雇用や労働条件を守るのです。

賃上げもさることながら、「誇りを持ち、健康で働き続けられる職場」の実現のためには、2015年春闘を絶対に他人事にはできません。諦めずに高く要求を掲げ、大変な状況だからこそ仲間と強く団結し、産別に結集することが極めて重要です。

2015年春闘、全農協労連に結集するすべての仲間と連帯し最後まで頑張りぬきましょう！

以上